

見守りネットふくおかとは

ひとり暮らしの高齢者等が安心して生活するためには、地域における見守り活動が重要です。この見守り活動は、複数の人に協力してもらい複数の網(ネット)をかけることで、より効果的なものとなります。

県では、各家庭を訪問する機会の多い事業者の皆さんが、ひとり暮らしの高齢者等の異変を察知した時に市町村へ通報する活動「見守りネットふくおか」に取り組んでいます。

異変を察知した時の通報先

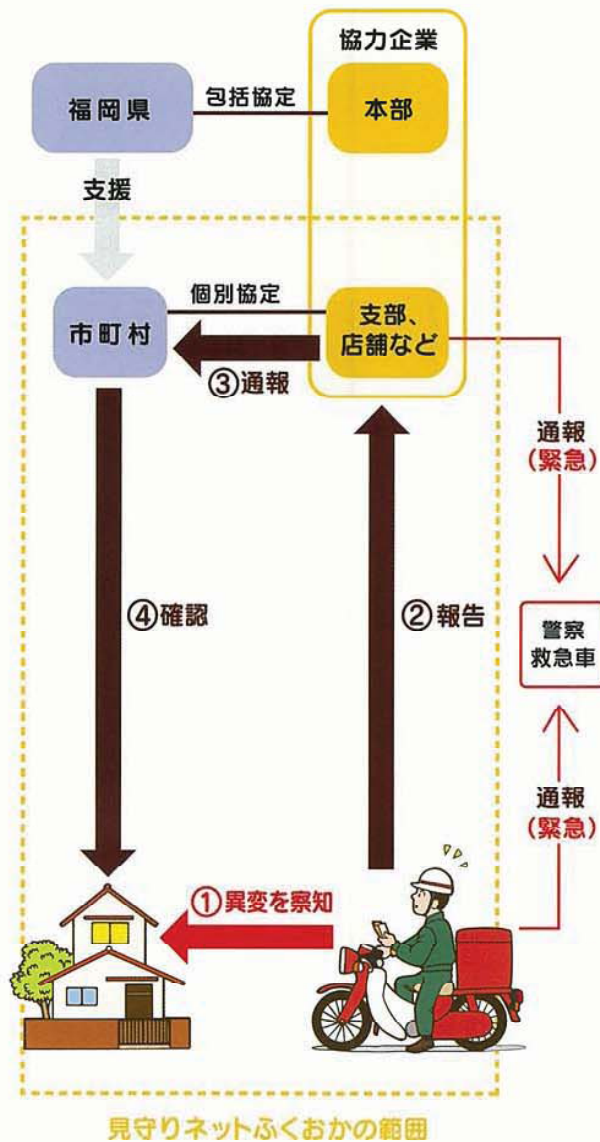
- いつもと違い、何か気になる…。
- 新聞がたまっている。
独居高齢者だし、安否を確認してほしい。



- 人が倒れている!
- 高齢者が徘徊している!
- 異臭がして、明らかに様子が変わ!



見守りネットふくおかのしくみ



ひとり暮らしの高齢者を見守る



活動の手引き



協力企業の役割

日常業務の中で、顧客等の異変を察知した時に市町村へ通報します。

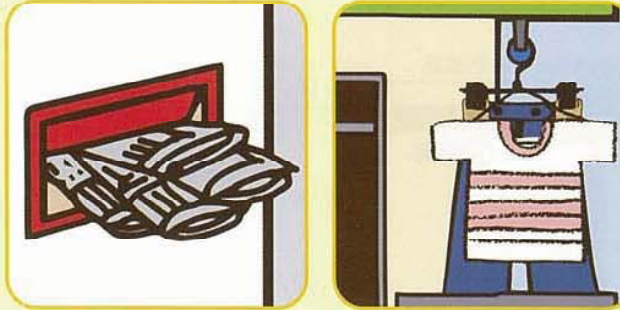
見 1 異変を察知するポイント

屋外から確認できる次のようなサインに気をつけてください。

新聞や郵便物が
たまったままだ!



- 新聞や郵便物が何日もたまっている
- 電灯が昼・夜ついたままになっている
- 何日も洗濯物が干したままになっているなど



※家の中をのぞく、洗濯物に近づくなど、相手が不快に感じる行為はトラブルの原因になります。

見 2 通報は協力企業の判断で

異変を察知した配達員等は、店長等に報告します。
店長等は、把握している顧客の状況などから通報が必要かどうかを判断し、市町村の窓口へ通報します。

あの家のおばあちゃん
元気かな?



- 顧客から長期不在の連絡が入っているか
- ひとり暮らしの高齢者か (同居者の有無)
- 旅行などでの不在ではないかなど



市町村の役割

通報を受けたら、速やかに確認し、対象者の状況に応じて必要な支援を行います。

見 1 安否確認の方法

安否確認は地域の実情に応じた方法で行います。

- 市町村又は市町村社会福祉協議会の職員が訪問
- 民生委員や自治会を通じて確認
- 住民が事前に登録した「緊急連絡先」に確認など

見 2 個人情報提供しません

「見守り対象者名簿」などの個人情報を協力企業へ提供することはありません。

